

各部（公室・局）長
教 育 長
警 察 本 部 長
各種委員（会）事務局長
議 会 事 務 局 長
企 業 局 長
病 院 局 長

} 様

総 務 部 長

令和5年度予算の編成について

本県は、これまで、平成28年熊本地震（以下「熊本地震」という。）、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）、令和2年7月豪雨災害（以下「豪雨災害」という。）という3つの課題への対応を最優先に、迅速かつ躊躇なく、様々な取組みを進めてきました。引き続き感染症への対応は予断を許さず、熊本地震と豪雨災害からの創造的復興についても、着実に歩みを進めていく必要があります。

また、これらの課題に対応してきた結果、令和4年度当初予算編成後では財政調整用4基金は54億円へと減少し、令和5年度の大まかな収支見通しにおいては、財源対策を行った上でもなお38億円の財源不足が見込まれています。令和3年10月に公表した「中期的な財政収支の試算」（以下「中期試算」という。）では、令和4年度以降5年間において、累計186億円の財源不足が生じ、2つの災害への対応に伴い、県債残高が今後増加し、実質公債費比率の上昇が見込まれるなど、中長期的な財政状況も厳しい状況にあります。

このようなことから、蒲島県政4期目の総仕上げとして、新型コロナウイルス感染症による危機の克服、2つの災害からの創造的復興を成し遂げ、さらには将来の熊本の発展につなげるため、令和5年度予算は、真に必要な事業への選択と集中を徹底し、将来負担を考慮する観点に立って編成する必要があります。

そうした考えを念頭に、各部局におかれては、別添「予算編成要領」及び「予算要求基準」により、11月7日（月）までに予算要求書を提出されるようお願いいたします。